

2022年8月24日
すみだ北斎美術館

展覧会開催のお知らせ

企画展 **北斎ブックワールド** —知られざる板本の世界—

江戸時代の読者を楽しませた、北斎や門人の挿絵や絵手本など、約 110 点の板本を展示！

すみだ北斎美術館では 2022 年 9 月 21 日（水）から 11 月 27 日（日）まで企画展「北斎ブックワールド」を開催いたします。

浮世絵と聞くと、「富嶽三十六景」のような一枚の紙に摺られた木版画がイメージされます。もともとそうした一枚摺の木版画は、板木に文字や挿絵を彫って摺ったものを本に仕立てた「板本（はんぽん）」から、次第に絵のみが独立したともいわれます。

浮世絵師・葛飾北斎（1760-1849）は、板本にも絵を描いており、物語の挿絵であったり、自らの絵を集めた絵手本（えでほん）であったりと、たくさんの板本を出版しました。北斎絵手本の代表作として知られる『北斎漫画』には、江戸時代の板本を読む人々が描かれています。人々がくつろぎながら読みふけて楽しむ様子は現在と変わりません。本展では、このような板本に注目し、その魅力をお伝えします。



葛飾北斎『北斎漫画』八編 すみだ北斎美術館蔵（通期）

※摺られた本は版本とも表記しますが、北斎が活躍した江戸時代後期の本は、一枚の板を彫った板木を摺ってつくる本が主流であったため、本展では板本の表記を使用します。

■展示構成

序章 板本の中の板本をよむ人々／1章 板本の基礎知識／2章 板本に関するトピックス／3章 所蔵者・読者の痕跡／4章 板本の優品

■本展の見どころ

展示室にずらりと並ぶ板本、約 110 点！

北斎や門人によって挿絵が描かれた板本は、絵画表現が工夫されているため、内容に惹きこまれます。本展では北斎や門人が描いた板本、前後期あわせて約 110 点を展示。出版文化が開いた江戸時代に、読者が感じていた「読む」楽しさをご紹介します。

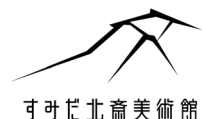
知れば知るほど奥が深い！【ここに注目】パネルで解説。

板本に関する用語のほか、作品の注目すべき点や、端々に残る読者・所蔵者の痕跡をパネルで解説。ポイントをおさえながら鑑賞していくと、見終わる頃には板本の世界に夢中!?



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)
TEL : 03-6658-8991 / FAX : 03-6658-8992
Email : hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

1章 板本の基礎知識

北斎が浮世絵師として活躍する頃には、板本の大きさや形式などが定まっていました。本章では、板本を鑑賞するための予備知識として、本を学問の対象としている書誌学の成果に基づき、板本の形態や、板木や包み紙、内容（ジャンル）による分類など、板本に関する基礎的な知識を紹介します。

▶キーワード：読本（よみほん）

読本（よみほん）とは、歴史に題材をとり、勧善懲悪、因果応報を伝える趣旨で書かれた小説です。絵を中心とする黄表紙などに対して文章を読む本という意味で、読本と呼ばれています。江戸時代では最も知的で格調高いとされる小説でした。挿絵は本文とは別の頁にあり、内容に即した刺激的な挿絵が入れられています。



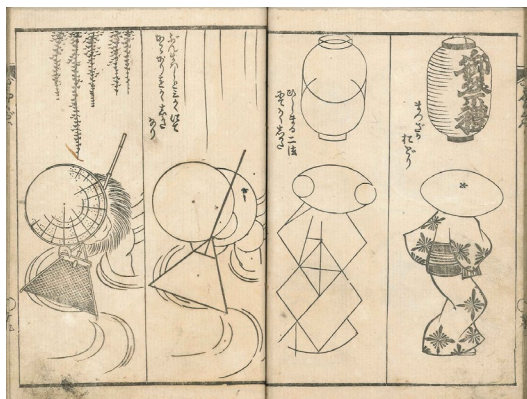
葛飾北斎『椿説弓張月』続編 巻四 すみだ北斎美術館蔵（通期）



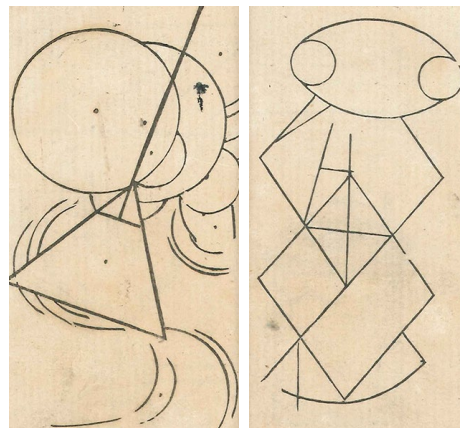
『椿説弓張月（ちんせつゆみはりづき）』は、伊豆大島に配流された平安末期の武士・源為朝が琉球にわたり活躍する読本で、江戸時代のベストセラーとも評されます。本図は物語の一場で、琉球王朝の忠臣、陶松寿（とうしょうじゅ）が一太刀で毒蛇を倒す様子が描かれています。

▶キーワード：絵手本（えでほん）

絵手本（えでほん）は、狭義では絵を習うための手本のことですが、実際には北斎の絵を鑑賞したい人が購入したり、職人が下図として利用したりもしていました。



葛飾北斎『略画早指南』初編 すみだ北斎美術館蔵（通期）



『略画早指南（りゃくがはやおしえ）』は、コンパスと定規による円と線で、描く対象物のおおまかな形を描けることを解説した北斎の絵手本です。このページでは、松坂踊という踊りと、川で魚を取る川狩の描き方が解説されています。

2章 板本に関するトピックス

板本をみていると、北斎や門人が板本のために工夫した絵画表現などが目にとまります。また、板本は手作りのため全く同じものはありません。同じ書名でも見比べてみると、薄墨（うすずみ）や濃墨（こずみ）が省略されていたり、細かな部分が変わっていたりする例もあります。2章では、板本の挿絵にみられる絵画表現や、現在から考えると少し変わった事例などの紹介、初摺（しょずり）と後摺（あとずり）などの比較など、板本の奥深さをご覧ください。

▶注目！後摺では濃墨（こずみ）が省略！？



左：葛飾北斎『飛騨匠物語』下、右：葛飾北斎『新板 飛騨匠物語』四 いずれもすみだ北斎美術館蔵（通期）

読本『飛騨匠物語（ひだのたくみのものがたり）』は、飛騨の名工・猪名部墨縄が、様々な機関（からくり）を作って活躍し、仙人の世界を追われた男女を結婚させるという物語です。『新板 飛騨匠物語』はその後摺にあたります。後摺とは、初摺の板木を再び使用して摺られたものを指します。

両書の挿絵を比較してみると、姫君が将来の夫たちを夢にみる場面で、初摺（左）は夢の中の夫たちの背景を濃墨にすることで、寝ている現実の姫君と対比させています。後摺（右）では濃墨が省かれ、夢と現実の境目がわからなくなっています。

▶注目！まるで絵巻物のような板本



葛飾北斎『絵本隅田川 両岸一覽』上 すみだ北斎美術館蔵（頁を替えて通期展示）

『絵本隅田川 両岸一覽』は、隅田川を下流から上流へと遡った兩岸の景色が描かれた板本です。前の見開きの図柄と次の見開きの図柄がつながるように仕立てられており、ページをめくりながら絵巻物のように鑑賞することができる点が特徴です。本展では見開き3ページ分の図柄が繋がった状態で鑑賞いただけるように展示します。

3章 所蔵者・読者の痕跡

すみだ北斎美術館が所蔵している板本は、江戸時代に作られた後、数人の手を経て伝えられてきたものです。板本には蔵書印や、所蔵者や読者による書き込みなどがみられます。大事に伝えられてきた証、ときには心無くいたずら書きされてしまったものなど、北斎が生きた時代から現在までの150年以上の間にのこされた、所蔵者・読者の痕跡を紹介します。

▶注目！入手の嬉しさの書き込み



左：北尾政演『百人一首古今狂歌袋』すみだ北斎美術館蔵（頁を替えて通期展示）、右：同書の帙（部分）

『百人一首古今狂歌袋』は、紀州徳川家15代当主・徳川頼倫、浮世絵研究者・檀崎宗重が旧蔵していたものです。本書に付属している帙（ちつ、本を保護するために包むもの）の内側には、旧蔵者・檀崎宗重による手書きのコメントが記されており、本書を入手した喜びが伝わってきます。

▶注目！北斎の絵をまねた落書き



葛飾北斎『橋供養』巻之一、巻之二 すみだ北斎美術館蔵（通期）
左：北斎による口絵、右：読者による落書き

葛飾北斎『橋供養』巻之二には、巻之一の北斎の口絵の人物をまねた拙い絵（落書き）が書き込まれています。落書きをした人は、教科書へ落書きをする現代の私たちと同じ気持ちだったかもしれません。

本書は料金を取って本を貸し出すことを商売とする貸本屋（かしほんや）が所蔵していたものです。貸本屋に所蔵されていた本は、多くの利用者に読まれたため、読者の感想などが書き込まれていたり、逆に貸本屋から利用者に宛てて落書きをしないように記している事例も見られます。

4章 板本の優品

板本には墨一色で摺られた本が多いですが、錦絵のような多色摺の本もあります。本の形のため、閉じた状態で保存されてきたことで、褪色が少なく非常に鮮明な色のまま伝えられている板本もあります。4章ではそのような優品や遺存数の少ない希少本、また北斎のターニングポイントになった板本を展示します。

▶必見！当館初公開の希少本



葛飾北斎『さむたらかすみ』すみだ北斎美術館蔵（前期）

寛政から享和（1789-1804）の頃には、狂歌をたしなむ人々の間で豪華な狂歌本が盛んに出版されました。『さむたらかすみ』もその一つです。北斎による挿絵は、近景に長閑な田舎の風景が画面全体に描かれ、子どもを負んぶする女性や、小川で鎌を研ぐ農夫、行楽に訪れた娘と婦人などが描かれます。遠景には社の鳥居や鶴などを小さく配置し、奥行きが表現されています。遺存数も数点しか知られていない希少な板本で、当館初公開です。

▶必見！美しく鮮やかな銀色の波



魚屋北溪『三都廻友会』すみだ北斎美術館蔵（前期）



本図は、魚屋北溪（ととやほっけい）が狂歌本『三都廻友会（みつのともえ）』に寄せた挿絵です。北溪は北斎門人の中でも優れた浮世絵師として知られています。隅田川の渡し船の情景が描かれ、月が照らす波の表現には銀摺（ぎんずり）が用いられています。収載された狂歌師のなかには、狂歌堂島人（人吉藩主・相良頼徳）や歌垣綾麿（綾部藩主・九鬼隆度）などの大名も含まれており、出版の助力をした可能性も考えられ、大変美しい本となっています。

開催概要

展覧会名	北斎ブックワールド ―知られざる板本の世界―
会期	2022年9月21日(水)～11月27日(日) ※前後期で一部展示替えを予定 前期9月21日(水)～10月23日(日)、後期10月25日(火)～11月27日(日)
休館日	毎週月曜日 ※開館：10月10日(月・祝)、休館：10月11日(火)
開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30～17:30 ※休館日を除く)
ホームページ	https://hokusai-museum.jp/BookWorld/

■観覧料 AURORA (常設展示室)、常設展プラス観覧料含む

通常料金	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	1,000円	700円	700円	300円	300円	無料

- 本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA (常設展示室)、常設展プラスもご覧になれます。
- 団体でのご来館は、当面の間、受付を行いません。

■前売券 2022年9月20日(火)まで販売中

通常料金の20%引き！

前売料金	一般	高校生 大学生	65歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	800円	560円	560円	240円	240円	無料

- 中学生、高校生、大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。
- 65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。
- 身体障がい者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで、障がい者料金でご覧いただけます。入館の際は、身体障がい者手帳などの提示をお願いします。
- 団体販売はございません。
- お一人様につき、10枚までの販売とさせていただきます。
- 当前売券でのご観覧当日に限り、AURORA (常設展示室)、常設展プラスもご覧いただけます。

<前売券/当日観覧券 販売場所>

・すみだ北斎美術館1階エントランス受付	※店頭販売のみ/開館日の9:30-17:00
・両国観光案内所	※店頭販売のみ/10:30-19:00
・ローソンチケット(Lコード:32855)	https://l-tike.com/
・カンフェティ (Confetti)	http://confetti-web.com/sumidahokusai/

■関連イベント

○スライドトーク「北斎ブックワールド」展の見どころ

講師 本展担当学芸員

日時 10月1日(土)、11月19日(土) 各日14:00～14:30(開場13:30)

会場 MARUGEN100(講座室)

定員 未定。最新情報はホームページをご確認ください。

料金 無料(ただし、企画展前売券か観覧券、または年間パスポートが必要です)

○講演会「板本を見る、板本に触れる」

講師 堀川貴司 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授

日時 11月5日(土) 14:00～15:30 (開場 13:30)

会場 MARUGEN100 (講座室)

定員 未定。最新情報はホームページをご確認ください。

料金 無料 (ただし、企画展前売券か観覧券、または年間パスポートが必要です)

- 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。
- 最新の状況は、すみだ北斎美術館公式ホームページにて最新情報をご確認ください。

■オリジナルリーフレット

本展オリジナルリーフレットを、1階ミュージアムショップにて9月21日(水)から発売します。板本に関する用語の解説に加え、挿絵を比べてわかる初摺(しよずり)と後摺(あとずり)の違いなど、鑑賞の予備知識を作品図版とともにオールカラーで紹介!

タイトル	「北斎ブックワールドー知られざる板本の世界ー」 リーフレット
価格	税込 300円
発売日	9月21日(水)
判型 / ページ数	A4 縦長 8ページ



□常設展プラス | 隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画

- ・会期 2022年9月13日(火)～2023年3月31日(金)
- ・場所 4階企画展示室
- ・観覧料 一般700円、高校生・大学生600円、65歳以上600円、中学生200円、障がい者200円、小学生以下無料
- ・ホームページ <https://hokusai-museum.jp/modules/Exhibition/exhibitions/view/2394>

「北斎ブックワールド」展で、板本の知識を深めた後にオススメ!

常設展プラスには、北斎の絵手本のレプリカを手にとって読むことができる『北斎漫画』ほか立読みコーナーがあります。(「北斎ブックワールドー知られざる板本の世界ー」展ご観覧当日に限り、AURORA(常設展示室)、常設展プラスもご覧いただけます。)

※レプリカ作品は毎日交換していますが、ご観覧の前と後には消毒液にて手指の消毒をお願いいたします。

□綴プロジェクト高精細複製画「鍋冠祭図」「遊女図」特別展示

- ・会期 9月21日(水)～11月27日(日)
- ・場所 3階ホワイエ
- ・展示 葛飾北斎「鍋冠祭図」高精細複製画(原画:フリーア美術館蔵)
葛飾北斎「遊女図」高精細複製画(原画:フリーア美術館蔵)
- ・料金 無料(ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です)
- ・ホームページ <https://hokusai-museum.jp/modules/Event/events/view/2603>

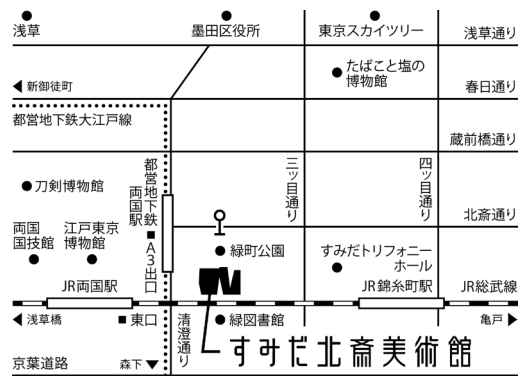
今後の企画展のお知らせ

展覧会名	北斎かける百人一首
会期	2022年12月15日(木)～2023年2月26日(日) ※前後期で一部展示替えを予定 前期 2022年12月15日(木)～2023年1月22日(日) 後期 2023年1月24日(火)～2月26日(日)
休館日	毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月1日) ※開館：1月2日(月)、1月3日(火)、1月9日(月・祝) 休館：1月4日(水)、1月10日(火)
開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
主催	墨田区・すみだ北斎美術館

北斎最後の大幅錦絵シリーズ「百人一首乳母かゑとき（ひやくにんいっしゅうばがえとき）」は、『百人一首』を絵にして内容を解説する目的で制作されましたが、絵の難解さなどの理由から27図のみの出版となりました。本展では「百人一首乳母かゑとき」を中心に、江戸時代の『百人一首』事情も紹介しながら、北斎と門人たちが描いた『百人一首』にまつわる作品を幅広く展覧します。『百人一首』と北斎や門人たちの表現力が掛け合わせられた作品の数々をお楽しみください。

すみだ北斎美術館 The Sumida Hokusai Museum

開館時間	9:30～17:30 (入館は17:00まで)
休館日	毎週月曜日(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日)、 年末年始(12月29日～1月1日)
所在地	〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30～17:30 ※休館日を除く)
ホームページ	https://hokusai-museum.jp/
Twitter	https://twitter.com/HokusaiMuseum/
Facebook	https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/
YouTube	https://www.youtube.com/channel/UC2ywKxcxhYowjfoAk2LflRg
アクセス	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分 JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分 JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)
TEL : 03-6658-8991 / FAX : 03-6658-8992
Email : hm-pr@hokusai-museum.jp



｜ 入館方法のご案内 ｜

当館では、新型コロナウイルス感染症の感染・拡散を防止し、皆さまに安心してご鑑賞いただくために、以下のお願いをしております。ご来館前に必ずご一読いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、当館では入館のための日時指定予約を行っておりません。ご希望の日時にお越しください。館内・展示室内・ミュージアムショップ内が混雑し、一定の人数を超えた場合は入場制限を行う場合がありますので、ご了承ください。

なお、今後予告なしに展示会の会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。最新の情報を当館ホームページでご確認のうえ、ご来館ください。

｜ ご来館のお客様へのお願い ｜

(2021年11月2日更新)

- 発熱及び体調不良の方は、来館自粛のほどお願いいたします。
- 入館前の検温と手指消毒
入館時に検温と手指の消毒をお願いしています。
チケットカウンターに自動検温/手指消毒器（非接触型）を設置しています。検温の結果37.5℃以上の発熱が確認された場合は、入館をご遠慮ください。咳・のどの痛み・発熱・倦怠感などの症状があるお客様は入館をお控えください。消毒のご協力が難しい際は、入館をご遠慮いただく場合がございます。

ミュージアムショップ入口に手指消毒液を設置しています。入店時には再度手指の消毒をお願いしています。

<ご観覧前/後>
4階のAURORA（常設展示室）にはタッチパネルがあります。ご観覧前/後には消毒液にて手指の消毒をお願いいたします。
- マスク着用
館内ではマスクご着用を必ずお願いいたします。咳やくしゃみをされる際には「咳エチケット」（マスク、ハンカチ、ティッシュなどで口をしっかりと覆う）にご協力ください。
- 観覧券保管
入館日の確定のため、観覧券半券はお持ち帰りの上、保管をお願いいたします。
- 入場制限
館内滞在人数によっては、入館制限、展示室の入場制限、ミュージアムショップの入場制限を実施することがあります。
- エレベーター定員
エレベーターの定員を3名に制限しております。ご家族や介助者の方は同時にご利用いただけます。
- 展示室、ミュージアムショップをはじめ、館内での会話はお控えください。
- 展示室内の展示ケースにはお手を触れないでください。

｜ すみだ北斎美術館の感染予防対策 ｜

- お客様がご利用になる手摺り、エレベーター操作ボタン、洗面所の取手/カラン等は1日4回の消毒作業を実施しております。展示ケース等の一部には水分やアルコールが使えないため乾拭きのみ実施しております。
- お客様と接する当館スタッフはマスクを着用しております。
受付・ショップにウイルス飛沫予防のパネルを設置しております。
- 良好な館内環境を保つため、入館制限やお声掛けを行う場合がございます。
- 新規の団体ご予約は当面の間中止いたします。

企画展「北斎ブックワールド ―知られざる板本の世界―」 展覧会広報用 作品画像請求紙

画像のお申込みにあたり以下の注意事項を必ずご一読いただき、全て遵守をお願いいたします。

◀ 画像貸出に関して注意事項 ▶

- ・画像を使用の際は、クレジット全文（作家名・作品名・所蔵先・展示期間）の表記が必須となります。
- ・画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。
本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
- ・画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
- ・画像は全図でご掲載ください（部分図のみの使用は不可となります）。
- ・ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
- ・展示作品は都合により変更することがあります。

ご希望の番号にチェックをお願いいたします。

1. 葛飾北斎『北斎漫画』八編 すみだ北斎美術館蔵（通期）
-
2. 葛飾北斎『椿説弓張月』続編 巻四 すみだ北斎美術館蔵（通期）
-
3. 葛飾北斎『略画早指南』初編 すみだ北斎美術館蔵（通期）
-
4. 葛飾北斎『飛驒匠物語』下、葛飾北斎『新板 飛驒匠物語』四 いずれもすみだ北斎美術館蔵（通期）
-
5. 葛飾北斎『絵本隅田川 両岸一覽』上 すみだ北斎美術館蔵（頁を替えて通期展示）
-
6. 北尾政演『百人一首 古今狂歌袋』すみだ北斎美術館蔵（頁を替えて通期展示）
-
7. 葛飾北斎『橋供養』巻之一、巻之二 すみだ北斎美術館蔵（通期）
-
8. 葛飾北斎『さむたらかすみ』すみだ北斎美術館蔵（前期）
-
9. 魚屋北溪『三都廻友会』すみだ北斎美術館蔵（前期）

貴社名
貴媒体名
部署名 (役職名)
ご芳名
ご連絡先 TEL FAX E-mail
ご掲載・放送予定 月 日
備考 ※ご要望などございましたらご記入下さい。



報道関係の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ
野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)
TEL : 03-6658-8991 / FAX : 03-6658-8992
Email : hm-pr@hokusai-museum.jp

